

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして!

2007.3.25 No.459 (毎月2回発行)

日本共産党あきる野市委員会は次の見解を発表しました。

たしかに
野党

日本共産党躍進の流れを 3.10日本共産党演説会 西多摩から、あきる野から



舞台正面で盛んに拍手を送るあきる野の参加者

革新都政の実現を こんどこそ!

東京都知事選をめぐって、候補が出揃ってのテレビ討論が始まり、革新候補の説得力のある討論ぶりが話題になっています。

一方、反現都知事をいながら、宮城県での実績は現都知事とまったく瓜二つの人もいます。ご用心、ご用心……。

現知事と瓜二つ、福祉切り捨てと巨大開発の宮城県の人

自民党以上に自民党型の知事候補と言えます。介護保険導入を口実に、敬老金とか介護手当など福祉給付的な施策をことごとく切り捨て、「施設から在宅へ」という掛け声で、特別養護老人ホームなどへの県の独自補助金を減らし整備をうんと遅らせてしまっただけで、

巨大開発でも、石巻港に四万トン級の船に対応とって巨大な埠頭と防波堤をつくったが、船はほとんど来ない。数千億円という金を投入、借金を倍にしてしまった。この人が知事の十二年間で県の借金は七千億円から一兆四千億円にふくれあがりました。……ご用心でしたか?

3月10日、明治公園で開かれた日本共産党演説会は、志位委員長を迎え、一万三千人の参加者が会場を埋めつくしました。西多摩からも二五〇人が参加、会場正面かぶりつきに陣取り、盛大な拍手を贈りました。

西多摩からもバス5台
250人が参加。「勇気もらった」と、こもごも……。

当日西多摩からの参加者、特にあきる野は、舞台の真前に座り、集会の一部始終を間近に見聞きすることができました。帰りのバスの中で沢山の感想が出されました。

「一番前で、みなさんの話がこんなによく聞けたのは初めて」

「舞台いっぱいいる区・市・町議候補の数には圧倒された」

「候補者を代表しての若い区議女性候補の話が良かった」

「志位委員長の話は、全身全霊を込め渾身の演説で、二大選挙にむけ並々ならない、思いが伝わった」

当日西多摩からの参加者、特にあきる野は、舞台の真前に座り、集会の一部始終を間近に見聞きすることができました。帰りのバスの中で沢山の感想が出されました。

「一番前で、みなさんの話がこんなによく聞けたのは初めて」

「舞台いっぱいいる区・市・町議候補の数には圧倒された」

「候補者を代表しての若い区議女性候補の話が良かった」

「志位委員長の話は、全身全霊を込め渾身の演説で、二大選挙にむけ並々ならない、思いが伝わった」



初めてのPTA役員任期がもうすぐ終わります。勢いで引き受け、委員長を引き当てる、本当に大丈夫なの!?と本人以上にまわりを心配させた、去年の今頃。たくさんのひとに支えられ、助けられて気が付けば一年です。

ひまな日こそなかったけれど、知った顔も増え、こどもたちもしっかりしたし、大変さよりも楽しかった気持ちの方が大きいです。(まわりの人は大変だったかも……)

野良望

4月8日投票で行われる東京都知事選挙に革新都政をつくる会推薦で元足立区長をしていただく方が立候補をされました。美濃部革新都政時代にお年寄りの医療費をいち早く無料にし、全国に広がったことは今でも忘れられません。

◆当時私は、両親と祖父母、8人の兄妹といっしょに暮らしていました。祖母は明治生まれの人で字も満足にかけない人でしたが「お年寄りの医療費を無料にしてくれた人」といって、美濃部さんに投票をしてくれたことをいまでも思い出します。◆いま都政は現知事のもとで「福祉は最大の贅沢」といって、シルバークラスの有料化やマル福の廃止、寝たきりのお年寄り家庭の福祉手当をなくすなど、革新都政時代につちかかってきた福祉を全部切り捨て、全国で一番だった福祉が、今では最下位となつてしまいました。一方で豪華海外視察や、料亭政治など都民の税金は使い放題、「こんな都政はもうごめんです」の声を大きく広げ、再び革新都政を実現したいとの思いを強くしています。(山根)

いろいろな役員は、つい敬遠しがちですが、やれば案外たのしく、得るものも多いです。やらないなんてもったいないですよ!!

(07.3.25)

たばた あずみ
連絡先は☎550-6674

「温泉問題を考える会」が 4月9日 pm7時～ルビア3F
タイムリーな 市民講座を開催

3月市議会で温泉賛成派議員は、事務監査請求を意識して、さまざまな反論を展開しながら「健全財政でない」と国からの交付税がもらえなくなるから「支出の削減を」と言い出す始末…。いよいよ、「ムダづかい派」と「市民派」の論戦の始まりです！

初心忘れることなく！

1千億円をこえる赤字をぬかすのが24億9千万円もかけて温泉建設。それも、第3セクターにたかだか市民赤子になったり、リニューアルの費用は、またまた市民の税金から。これでは市民はたまりません。



全国には、第2の夕張候補がひしめいていると聞きます。そんな時、市議会で温泉賛成派は「健全財政でない」と国からの交付金が来なくなるから「学校の統廃合などをもっとすすめる」などと市民のくらしや教育予算をもっと削れと市当局に迫っています……

だから、企画しました。

市民講座

現地からの報告
夕張はゆま、そしてあきる野市の財政は
 講師/大和田一統氏

■とき/4月9日(月)PM7:00～9:00

■ところ/ルビア3F研修室

(資料代=500円)



絵手紙/戸沢典子さん・瀬戸岡在住

2007.2.27

山柳 二題
 孫せがみ 三月雛を 仕舞ひかね
 大臣は 飲みも飲んだり 高い水

西川 昇引田在住

日本共産党あきる野市議団の 「市民アンケート」に回答つぎつぎ



市政に 不満と不安がいっぱい！

日本共産党あきる野市議団は、市政を中心として国政・都政についても、市民が今の政治をどう考えているのか、意識調査を行っています。「アンケート」用紙を配布した後、回答が次々と寄せられてきています。福祉、教育を切り捨てゼネコン型政治を進める行政に不満と不安がいっぱいですが、その声の一部を紹介します。

公民館を利用した活動をして思うのですが、使用料が高くて時間を短縮して利用しています。それに比べ太陽が射しているロビーは、全部電灯がつき困ったものです。投票箱を設置して市民の声を聞くのはどうでしょうか。市長や議員は市民の声を吸い上げ、市民の目線に合わせた市政を進めて

◆ ください。市の借金が膨れ上がっても無責任な今の市長は次期市長選には出ないでしょうね。

(Aさん)

◆ 保育園が少なすぎるし、学童保育にもなかなか入れない。子供が安心して遊べる広場が少ないので、道路で遊ぶ子供が多く、あぶない。音楽観賞など子供の教育にお

◆ 借金が多いあきる野は住みにくく、恥ずかしい。共産党の議員団の皆さん、なんとかして下さい。ウチの子(十四才と十才)は大人になったら、この町は出ていくと思っています。市長や議会は市民の事を考えているの？市長は自分の小遣いで温泉を作ったのか？市長も温泉に賛成した議員もみ

(Bさん)

◆ まだまだ間に合います ● お奇せくだらこ ● あなたの思いを ●

歴史探訪 第39回 多摩川の渡し ⑥



熊川の渡し(昭和5年頃)

小川村と熊川村の渡船営業権獲得の諍いが、熊川村から出された「渡船権承継」(明治三十三年)に記されています。「(前略)……小川村は昔から熊川村人民の架設した橋を無代価で通行していたものであり、渡船場開設予定地から居村(小川村に住む人々のこと)までは遠隔であり、ただ

ただ熊川村の渡船出願を妨げるために人々の通行の便宜を計る意志は毛頭ないのである。熊川村は数十年來義徳上架橋し、人々の通行に便利を与えてきたのである。小川村と権利も同等にしたならば、祖先に対して顔向けができない……(後略) 文明が発達すれば交通機関も変化を遂げます。大正末に多摩橋(五日市街道)が開通し、五日市鉄道(五日市線)が走ります。これによって繁栄の三つの渡船も通行量が激減し、衰退してゆきます。二つの交通機関によって、昭和十五年頃には利用者は五分の一となり、渡船の姿は消え木造橋になりました。

(この項終り) 草花 木崎秀治



我が庭の朝日うけたる黄水仙 (静子)

朝暉して朝風呂へ入る春一日 (暎代)

新築の庭にポツリと露の茎 (勝代)

泉境の橋より来りし東風光る (かほる)

ひかりごけ覗く岩穴暮れかぬる (香治)

春一番地球の不安を吹き抜ける (志治)

落椿絨毯めきて見ろ遊ぶ (やす子)

庭先のつばきあふるる沈丁花 (ルリ子)

児を追ひて駆くる畦道春近し (未史)